

図書館だより

2月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	6
7	⑧	9	10	⑪	12	13
14	⑮	16	17	18	19	20
21	⑳	23	24	25	⑳	27
28						

○印 休館日  
月曜日・祝日(11日)  
月末館内整理日(26日)

今月の新刊図書案内

はじまりはじまり 今江祥智  
チャンスをつかむ人つかめない人 伊吹 卓  
歴史の中で語られてこなかったこと 網野善彦・宮田登  
時代末 上・下 堺屋太一  
菊と葵のものがたり 高松宮妃喜久子  
古地図の博物誌 織田武雄

憧れのまほうつかい さくらももこ

どうころんでも社会科学 清水義範  
権力必腐 高杉 良  
Q&A 欧州単一通貨ユーロ 日本経済新聞社

年金力 原 智徳  
クロワッサン症候群その後 松原惇子

「終のすみか」は有料老人ホーム 滝上宗次郎  
ママの一言 清水エミ子

惑星の暗号 グラム・ハンコック  
「がん」を生きている人々 小笠原信之  
おいしいキムチと韓国料理 慎 月順

排泄介護実用百科 園芸なんでも相談 江尻光一ほか  
スパーを見極めろ 佐伯真史  
絵巻を読み解く 若杉準治

絵本シエイクスピア劇場 安野光雅  
かごづくり 谷川栄子  
シュルツェのいたずらオペラガイド 谷川栄子  
カール・シュルツェ

増田明美のさあ走りましょう 増田明美  
芥川竜之介の復活 関口安義  
天国までの百マイル 浅田次郎  
ピンの一(びん) 伊集院静  
ジオラマ 桐野夏生  
一夜の客 杉本苑子  
えじやないか 出久根達郎  
真説・赤穂事件 童門冬二  
骨董市で家を買う 服部真澄  
幸福の船 平岩弓枝  
陽炎の 藤沢 周  
ゴールドラッシュ 柳 美里  
女は三角男は四角 内館牧子  
眼の探索 辺見 庸  
約束された場所 村上春樹  
死せる少女たちの家 スティーヴン・ドビンズ  
よそ者たちの荒野 ビル・ブロンジーニ  
母の眠り アン・クインドレン  
驚愕の理由 ウルス・フォン・シュルター  
ウルス・フォン・シュルター 外二二六冊

『キキあずかります』 田辺みゆき 作 徳永健 絵 講談社  
友だちになったレミとおばあさん。ふたりは、おばあさんがかっているインコのキキにことばをおぼえさせようとするのですが…。ふたりの心のふれあい小さなおはなしにあふれています。子どもが楽しくひとりでもめる本。



『盆栽』

竹山浩 著 日本放送出版協会  
盆栽の見方・味わい方から植た門  
飾り方・剪定・針金かけのし入  
替えなどを一冊にまとめたカラ  
替ま書。数々の名品も紹介。



市立図書館 今月の一冊



『キキあずかります』

田辺みゆき 作 徳永健 絵 講談社  
友だちになったレミとおばあさん。ふたりは、おばあさんがかっているインコのキキにことばをおぼえさせようとするのですが…。ふたりの心のふれあい小さなおはなしにあふれています。子どもが楽しくひとりでもめる本。



『盆栽』

竹山浩 著 日本放送出版協会  
盆栽の見方・味わい方から植た門  
飾り方・剪定・針金かけのし入  
替えなどを一冊にまとめたカラ  
替ま書。数々の名品も紹介。

児童図書

「晴耕雨読」の読書法 看護婦宮崎和加子  
生命の木 性教育の絵本  
オシドリの子 森にうまれた愛の物語  
はやく走れジャンプできる 天使たちのカレンダー  
コカリナの海 時計はとまらない  
ひたひたどんどん  
へビのヴェルディくん  
だいすきっていいたくて

外九〇冊

心の健康シリーズ(70)

友達に

「好かれる子」

「嫌われる子」



子どもの「いじめ」が大きな社会問題となり、教育関係者もいろいろ対応を考え、未然防止に努めています。が、「いじめ」の問題はいじめの側が悪いことはもちろんですが、いじめられる側にもそれなりの理由があることがあります。ですから、「なぜ嫌われるのか」「なぜいじめられるのか」を反省することも必要です。

最近では、大人にも見られることです。が、自己反省が少なく、己には甘く、わがままで権利を主張するが義務をおろそかにし、責任を他人のせいにする子どもが増えているように感じます。

毎日の子どもたち同士の間には、いろいろ、もめごとが起こります。そして、その一つ一つのできごとをとおして、子どもたちの心は大きく、強く成長していくわけでもあります。

ですから、いつも「仲良し」だけが良いわけではありません。時には対立やけんかも子どもの成長には必要なのです。

しかし、後にしこりを残したり、いつまでもけんかが続いていては困ります。こういうときは、親や先生がやさしくけんかの原因を聞いてやったり、仲直りの方法を話してやる

など親身になって話してやったり、反省文や日記を書かせて自分を見つめさせることも大切です。私がかつて小学校に勤めていたころ、反省文を書かせ指導したことがあったり、指導の参考に「好きな子」「嫌いな子」などを書かせたことがあります。その主なものを育児の参考までに記します。

「好きな子」

- 明朗、元気、活発な子
- スポーツ、運動の上手な子
- 思いやりがあり、優しい子
- 意見がはっきり言える子
- 良く遊んでくれる子

「嫌いな子」

- 殴ったりする乱暴な子
- 威張ったり、意地悪な子
- 悪口、つげ口をする子
- 不潔な子
- グズな子
- 責任を人のせいにする子
- わがままな子
- 自分勝手な子

「好かれる子」というのは、大體自立していて、判断力良く、リーダー的素質をもって活動ができるが、「嫌われる子」は、自信がなく、依頼心が強く、引っ込み思案である。

親がその子をどう育てるかが、「好かれる子」「嫌われる子」の重要な要因となります。

子どもの悩みとは

教育相談室へ  
(八朔屋台展示庫前)  
月々金 午前8時30分  
午後4時30分

☎(43) 1323